

## 平成 29 年度第 1 回学校評議員会記録

1 日 時 平成 29 年 6 月 5 日 (月) 10 : 00 ~ 11 : 15

2 場 所 会 議 室

3 出席者

(1) 学校評議員 (5 名)

A 評議員 (学識経験者)

B 評議員 (保護者)

C 評議員 (地域関係者)

D 評議員 (医療関係者)

E 評議員 (施設関係者)

(2) 本校職員 (12 名)

校長 副校長 2 名 事務長 小学部長 中学部長 高等部長 分教室主任

訪問教育部主任 総括教務主任 生徒指導主事 進路指導主事

4 内 容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 協議・報告

ア 平成 29 年度学校運営方針について (校長)

(ア) 基本方針について

- ・ 病弱虚弱の児童生徒の教育を担う支援学校として就学前からの連携を図り、児童生徒の健全育成を目指す。
- ・ 医療、福祉等の関係機関との連携を図り、学校から積極的に情報発信するなど新たな取組を行う。
- ・ 病気や障がいなどの不安な状況の中でも学習を通して児童生徒の心の支えとなるよう教職員の専門性を向上させる。

(イ) 運営方針

- ・ 児童生徒の自立と社会参加に向け、基本的な生活習慣の確立と基礎的・基本的な学力の確実な定着を図る。
- ・ 学部内の連携を高め、効果的な支援及び指導を実現する。
- ・ 地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。

イ 平成 29 年度教育活動について (各学部主事・主任、進路指導主事)

(ア) 今年度の取組重点や児童生徒の様子について

(イ) 今年度の在籍児童の概要について

(ウ) 卒業生の進路状況について

(4) 意見・提言

A 評議員

安全安心に学習できる環境になっていることを学校紹介ビデオを通して理解できた。学校における重要な使命だと思うので今後も継続してほしい。また、スクールスタンダー

ドを全職員で共有するよう職員が努力していることは大事であると思う。

#### B 評議員

自分としては数年間子どもを通して学校を知っているつもりでいたが、学校紹介ビデオを見て、別の角度から再度学校を知ることができた。子どもたちは一人ひとりが大人が思っているよりデリケートである。教職員もその点を理解していただき、子どもたちに接していただきたい。正担任だけではなく、他の職員にも子どもが気軽に相談できる人がいると良いと思う。

#### C 評議員

雨天のため運動会は体育館での開催となったが、応援合戦などは児童生徒の息づかいが伝わってきて大変よかった。素晴らしい応援で、先生方の指導がたくさんあったのではないかと想像する。地域への運動会のお知らせはもっと早くできると思うので回覧する文書を早めにいただきたい。地域への周知の際や多くの方が来校された際の個人情報管理はどのようになっているのか、気になるところである。

#### D 評議員

運動会で子どもたちが成長している姿を見て、教育は希望であると実感している。常に18歳を意識し、今何をすべきかを考えて学校生活を送ってほしい。精神科医療も近年は変化しており、将来的には特別支援学校が教育現場のスタンダードになるのではないと思う。また、青松支援学校の教育相談は以前と比較して、受けやすくなっていると感じる。

#### E 評議員

集団生活の経験のみではなく、家庭的な経験も積ませたい。少人数のグループホームでの生活など、様々な体験をして社会に出てほしい。学校では、就労後のフォローや各関係機関との連携を今以上に進めてほしい。

### (5) 閉会